

埼玉経済



たにい よしあき 1959年生。86年9月東京工業大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。理学博士。06年4月から現職。専門は素粒子論。

サイ・テク・知と技の発信 こらむ

[354]

埼玉大学・理工学研究の現場

弦理論の双対性 谷井 義彰教授

■未完成な理論
重力を含めた素粒子の基礎理論定式化がどのようなものであるかの候補として、弦理論と呼ばれるが、まだ分かっていません。1次元的な広がりを持つ弦(ひも)そのため、弦の間に働く力が弱い場合(弱結合)の性質は比較的よく理解されているものの、力が

は未完成な理論で、その基本的な性質を持つ超弦理論と呼ばれるが、まだ分かっていません。そのため、弦の間に働く力が弱い場合(弱結合)の性質は比較的よく理解されているものの、力が

強い場合(強結合)の性質は十分には理解されていません。

しかし、強結合の性質も少しづつ理解できるようになってきました。これは以下で述べるようになります。

1990年代に発見された弦理論は、初めてこの6種類の理論は、初めて別々の理論であると考えられています。その後の研究によって、同じ一つの理論を表す等価な理論

■超弦理論
弦理論の中には、超対称性といふ性質を持つ超弦理論と呼ばれる理論があります。超弦理論は特に良い性質を持つ理論で、その内容が詳しく研究されています。

超弦理論には、I型、IIA型、HE型、O型などがあります。空間全體を動く弦としては、I型理論は閉弦(円周のような輪形の弦)と開弦(両端のある弦)を両方含み、それ以外の四つの理論は閉弦だけを含みます。また、弦理論そのものでは同じ理論であることを双対性と

関係したM理論といつ六つ目の理論があることもわかりました。

■六つの理論
これらの6種類の理論は、初めて別々の理論であると考えられています。その後の研究によって、同じ一つの理論を表す等価な理論

■強い結び付き
関係したM理論といつ六つ目の理論があることがわかつてきました。双対性の重要な点は、強結合の理論と弱結合の理論を結び付けています。強結合の理論を直ぐ接調べるのが難しいとき、双対性によるところと等価な弱結合の理論を調べることで、それを調べることによって元の強結合の理論の性質を知ることができます。

このように、双対性を利用して論の間に関係があることが分かります。また、これまでには解析の難しかった弦理論の強結合の性質が理解できるようになります。